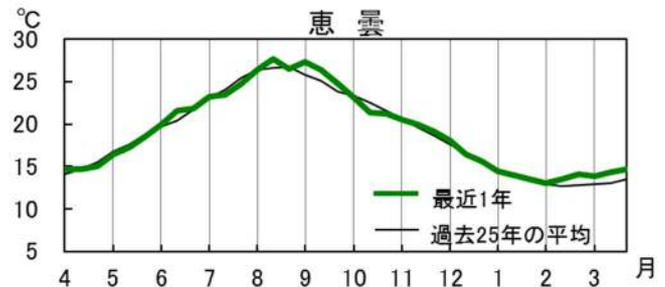
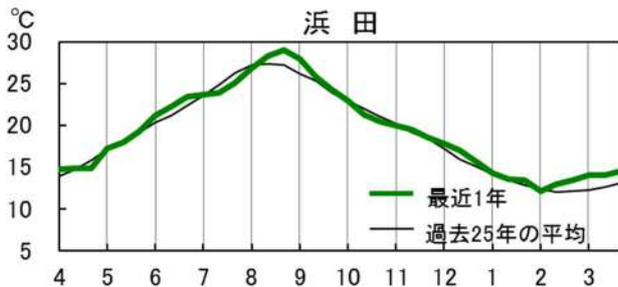




## 《3月の海況》



3月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	はなはだ高め	14.2℃	+1.5℃	かなり高め	14.3℃	+1.2℃
中旬	はなはだ高め			かなり高め		
下旬	はなはだ高め			かなり高め		



## 《3月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マイワシ、ウルメイワシ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1割、マイワシは平年の3割、ウルメイワシは平年の29倍でした。隠岐地区ではマイワシ、サバ類、カタクチイワシ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は80.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは3,765トンで平年の9割、サバ類は1,201トンで平年の5割、マアジは808トンで平年の4割でした。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の97%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は674.9kgで平年を上回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は61.6kgで平年並みでした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではケンサキイカ、キダイ、スルメイカ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は13.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6.8倍、キダイは平年の1.7倍、スルメイカは平年の8割でした。その他、マトウダイは平年の1.9倍、マダイは平年の1.3倍と好調でしたが、ソウハチおよびアナゴ・ハモ類は平年の8割、アンコウ類およびムシガレイは平年の6割、カワハギ類は平年の5割の水揚げでした。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は311トンでした。1統1航海当りの漁獲量は912kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の1.0倍、アカガレイは平年の1.2倍、ヒレグロは平年の4割でした。その他、キダイおよびケンサキイカは平年の2.8倍と好調で、アンコウ類は平年の1.0倍、アカムツおよびニギスは平年の9割、アナゴ・ハモ類は平年の5割の水揚げでした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、スズキ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は8.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の99倍、スズキは平年の2.8倍、マアジは平年の2.3倍でした。石見地区ではマアジ、ヤリイカ、ケンサキイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は3.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1.0倍、ヤリイカは平年の4.7倍、ケンサキイカは平年の2.1倍でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は10.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の3.8倍でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は43.9kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の8割でした。石見地区ではヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ヒラマサは平年の6割でした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.8kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の9割でした。

【令和3年3月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マイワシ、ウルメイワシ	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、サバ類、マアジ	6,609トン	59%	69%	80.6トン	61%	77%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	41.2トン	45746%	78%	674.9kg	750%	168%	◎
	西郷	スルメイカ	3.9トン	196%	108%	61.6kg	58%	76%	○
沖合 底びき網	浜田	ケンサキイカ、キダイ、スルメイカ	292トン	94%	99%	13.3トン	77%	90%	○
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アカガレイ、ヒレグロ	311トン	101%	88%	912kg	105%	109%	◎
定置網 (大型)	出雲	サバ類、スズキ、マアジ	98トン	80%	102%	8.9トン	65%	82%	○
	石見	マアジ、ヤリイカ、ケンサキイカ	10トン	30%	35%	3.5トン	30%	35%	▲
	隠岐	スルメイカ	30トン	270%	122%	10.1トン	180%	94%	○
釣り・縄	出雲	ブリ	43.2トン	86%	70%	43.9kg	111%	104%	○
	石見	ヒラマサ	18.0トン	55%	56%	21.1kg	75%	85%	▲
	隠岐	カサゴ・メバル類	10.9トン	55%	57%	19.8kg	68%	77%	▲

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ